



セブ島通信
セブ日本人会報

2018年7月号
(隔月発行)
発行所
セブ日本人会
5th Floor
Clotilde Commercial Bldg,
ML Quezon St. Casuntigan,
Mandaue City, CEBU
TEL: (032) 343-8066
FAX: (032) 343-7663
発行人: 櫻井 綱憲
編集人: セブ日本人会
http://www.ja-cebu.com
info@ja-cebu.com

慰霊祭

セブ島のマルコポーロプラザホテルの前庭には、セブ観音慰霊碑が建立されています。先の大戦においてセブ島周辺で戦死したすべての人のご冥福を祈り、ここで毎年戦没者慰霊祭が執り行われています。

小高い丘からセブ観音が見据える先にはセブ市街地からマクタン島、ボホール島が見渡せ、さらにその先には遠く日本へと続く太平洋が広がっています。

今日ではリゾートとしての華やいだイメージが強いセブ島ですが、すぐ近くにあるレイテ島周辺は先の大戦で最も激しい戦いが繰り広げられた地です。

1944年当時、日本軍はアメリカの植民地であったフィリピンを占領していました。しかし、ミッドウェー海戦での敗北以来、戦局はすでに米側に大きく傾きつつありました。

絶対国防圏（日本本土が空襲されないための絶対確保すべき要域）として定めたサイパンを中心とするマリアナ諸島を失い、日本陸海軍は米軍との最後の決戦の場を求め、フィリピン防衛を目的とする捷一号作戦を発令しました。

フィリピンを失うと、南方から石油などの資源を本国に運ばなくなり、フィリピンを守ることは、日本の死命を制する重大事だったので、

日米が雌雄を決する場として選ばれたのは、レイテでした。フィリピン奪還を目指す米軍と、それを阻止

しようとする日本軍の間で、両軍ともに国家の興亡をかけて激しく戦ったのです。

陸軍はレイテ島決戦のために新部隊を次々と注ぎ込み、海軍は残り少ない連合艦隊をレイテ湾に結集させ、その巨大な砲撃力で米艦隊と米地上軍の撃滅を計りました。

2つの別働隊のほか空母を中心とする小沢艦隊が囷（おとり）となつて米艦隊を引きつけ、その隙（すき）を突いて戦艦大和と武蔵を擁する栗田艦隊がレイテ湾に突入する作戦を立てられました。機動部隊を囷にすることは、世界の海戦史上でも例を見ない大胆な作戦でした。

1944年10月、史上最大の海戦と呼ばれるレイテ沖海戦が始まりました。別働隊のひとつである西村艦隊が全滅、もうひとつの志摩艦隊が撤退するなか、小沢艦隊は米主力艦隊を誘い出すことに成功します。しかし、先の海戦で航空機の大半を失っており、空母4隻には13機の戦闘機しか残されていませんでした。

小沢艦隊は使命を果たし全滅しました。

栗田艦隊も多くの米軍艦艇や攻撃機と潜水艦からの攻撃を受け、すでに戦艦武蔵が沈められていました。多大な犠牲の上にレイテ湾突入まであと2時間と迫ったとき、栗田艦隊はレイテ湾突入をあきらめ反転しました。

このことは「栗田艦隊の謎の反転」として、今もって先の大戦最大の謎とされています。

ただし、レイテ湾には米艦隊が居

座っていただけに、たとえ栗田艦隊が突入したとしても戦果が上がっていたかどうかはわかりません。

レイテ沖海戦で日本海軍は機動艦隊の多くを失い、大敗を喫しました。それは世界有数の強さを誇った日本連合艦隊の、事実上の壊滅を意味していました。

栗田艦隊の突入を助けるために組織されたのが神風特攻隊です。航空機の大半を失っていた日本が米航空部隊を足止めするには、もはや通常の攻撃では不可能でした。そこで、爆弾を抱いたまま空母の甲板に突入して破壊するという非常手段がとられたのです。

それは九死一生ではなく、十死零生を意味していました。確実に死ぬとわかっていながらも進んで特攻隊に志願した多くは、まだ二十歳前後の若者でした。レイテ沖において敷島隊6機が米空母に突っ込み沈没させる大戦果を上げたことから、以後も特攻隊の出撃が繰り返されるようになったのです。

クレージーともいわれる特攻隊ですが、祖国のすぐ近くで戦い、瀬戸際で祖国を守ることに命をかけた日本人の気持ちは、本国が戦火に包まれる心配がないほど遠く離れたアジアの果てで戦う米兵にわかるはずありません。

セブ島基地からも、悲壮な思いを胸に大和隊が特攻隊として出撃していききました。

海戦が終わると、戦闘の舞台はレイテ島の地上戦へと移されました。レイテを天王山の戦いと見極め準備を進めていた陸軍ですが、米軍がレイテに差し向けた4個師団20万は日本側の予想をはるかに上回っていました。

それでも日本軍は多勢に無勢のなか、8万の兵をマレーの虎こと山下将軍が率い、レイテに上陸した米軍とタクロバンやドラッグ、タガミ高地やリモン峠、オルモックで激しい

戦闘を繰り広げました。

日本軍にとって大きな痛手となったのは、補給がままならないことでした。マニラからレイテへと兵員と食糧・物資などを輸送する船舶は、この頃には艦艇も航空機も尽きたため護衛してくれる友軍もなく、裸同然でした。米軍の攻撃を受け、その8割は次々と海中に没していきま

した。

武器も食糧も途絶えた日本兵にとって、レイテはまさに地獄の戦場でした。極度の飢えとマラリアなどの熱帯特有の病気に苛まれ、もはや日本兵には戦う力が残っていませんでした。

12月下旬、米軍がさらに兵員を増強したことを受け、大本営は「自活自戦、永久抗戦」の決定を下しました。事実上のレイテ放棄です。以後は兵員も武器も食糧も送らないが、自分でどうにかして最後まで戦い抜け、という非情な命令です。

各地に孤立していた将兵は司令部が置かれていたカンギポットを目指し、後退しました。できるだけ多くの兵力をカンギポットからセブ島へ脱出させるための地号作戦を実施するためです。まずは第一師団の将兵750名ほどが3回に分かれて脱出しました。

しかし、そこまでが精一杯でした。船艇は米軍に破壊され、取り残された将兵はレイテ島の土と消えるよりなかつたのです。

米軍の記録には次のように綴られています。

「4月から5月にかけて、飢えと疾病と戦いながらも、将兵たちはカンギポット峠より北へ、カルバゴス山へと山嶺の一角をさまよい歩き、終戦の日よりあと、生きて投降収容された者なし」

レイテ島の戦いに参戦した8万弱の将兵の大半が、戦死を遂げたのです（参戦者は8万4千名戦死者は7万9千名）。戦後、先の大戦をめ

ぐる評価は様々ですが、神風特攻隊を含めレイテに散った日本軍将兵の思いはひとつです。祖国を守るということ、それはとりもなおさず父母や家族を守ることであり、愛する人や友を守ることでした。大切な人たちを守るために、避けては通れない戦いがそこにあつたのです。

セブ島に転進した第一師団の750名は、第35軍司令部と共に米軍の上陸部隊に対して最後まで激しい抵抗を続けました。

セブ島での日本の戦没者は12000人を数えます。未だにその多くの遺骨はセブ島に取り残されたままです。

2000年に遺骨収容事業が行われた際に掘り出された遺骨の多くは、まだ二十歳前後の若者でした。時代は違えども、当時の二十代と現代の二十代の思いにさほどの差はありません。戦場に散った若き英霊たちもまた、愛する人たちとのさや

かな暮らしを切に願っていたに違いありません。

「国に帰りたい、父母や兄弟姉妹に会いたい、恋人にひと目逢いたい」絶ちがたき哀切の情は、今もセブやレイテの地に漂っています。

彼らの犠牲の上に民族としての誇りが保たれ、現在の平和が築かれています。今、恵まれた時代に生きる私たちは、彼らへの感謝の思いを忘れるべきではないでしょう。

ある特攻隊員が次のような言葉を遺書に綴っています。

「父母 兄弟に告ぐ 白木の箱が届いたら、泣かずにほめてください」戦後から73年が過ぎた今年も、セブ観音慰霊碑のもとで慰霊祭が8月15日に行われます。

文責 セブ日本人会
(石田元セブ日本人会会長監修)

セブ日本人会 セブ観音戦没者慰霊祭のご案内

戦後73年を迎える本年の戦没者慰霊祭は、8月15日の終戦記念日に下記のごとく挙行政致しますので、皆様お誘い合わせの上セブ観音像の御前にご参列くださいますようにご案内申し上げます。

日時	2018年8月15日(水) 午前9時15分 受付	
場所	セブ観音慰霊碑前(マルコポーロプラザホテル 敷地内)	
式次第	午前9時30分	司会者: セナプロケミカル 後藤 様
	国歌斉唱:(比国、日本)	
	黙祷	
	追悼の辞: セブ領事事務所 所長 鶴岡所長 会長挨拶: セブ日本人会 櫻井会長 焼香と献花:(参列者全員) セブ観音建立の説明: セナプロケミカル 後藤様 閉会の辞: セブ日本人会 石田元会長	
追悼慰霊	10時15分	献杯: セブ日本人商工会議所 慰霊歓談: 戦後73年を迎えるにあたって石田元会長より マルコポーロホテルによる飲料のご提供
	11時	終了予定

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール: info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日(奇数月の月初)の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

着任のご挨拶

在セブ領事事務所 諸岡哲郎

この度、3月21日に在セブ領事事務所に着任致しました諸岡哲郎と申します。よろしくお願いいたします。

海外生活としては、ヨーロッパやアフリカのフランス語圏で過ごしたことがあり、直近では、タイ王国・バンコクにあります日本大使館領事部にて勤務しておりました。

セブのことはまだまだ知らないことが多いですが、日常の風景ひとつとっても、温暖な気候に、セブの人々の明るさが相まって、柔らかな雰囲気を感じ出されていることを日に日に感じております。その反面、事務所にお寄せ頂く相談の中には、ひやつとするような犯罪被害のケースもあります。快適な毎日を送るために、日々の生活の安全に、いっそうの注意を払う必要を日に日に感じています。

セブの一般治安については、セブにお住まいの皆様がよく分かっておられること存じます。一旦事件・事故に巻き込まれてしまった場合の問題解決の大変さについても十分御想像頂けると思っています。自身の安全のため「止めておいた方がよい」という肌感覚も既に持ち合わせておられると存じますが、この機会に改めて、邦人援護の観点から、以下の2つのことについて、共有させて頂きます。

第一に、情報収集です。地元の新聞やテレビ等、自分に合ったものを見つければ、まめに事件・事故の情報に目を通すことは、知識のアップデートになるだけでなく、自分の安全対策を見直すきっかけにもなると思います。また、外務省、在フィリピン日本大使館では安全に関する様々な情報を、「海外安全ホームページ」や「大使館ホームページ」等を通じて発信しております。情報の種類としては、一般治安情勢に限らず、政情、テロ、自然災害等も含まれ、かつ最近の情報に限らず、古くからあり未だにない典型的な犯罪手口についても触れてありますので、ご参照頂ければと思います。

第二に、対策です。長くお住まいの方ほど、潜在経験に即した自分なりの対策を身につけておられるかと思いますが、時折それらの対策を自己点検することも大切です。「なるべく目立たず、周囲の環境に溶け込む」「習慣的な行動は避ける」「個人情報管理を徹底する」「外出する場合には常に周囲の状況に気を配る」「見知らぬ人から話しかけられても、むやみに信用しない」「所持品から目を離さない」「自家用車で移動する際はドアを必ず施錠する」等は、基本的な心構えですが、具体的な対策を構築する上で重要な言葉ばかりだと思います。

私自身、住み始めたばかりのこの地で、安全対策に気を付けつつ、ひとつでも多くセブの魅力を発見できたらと思っています。

最後に、日本人会のこれまでの活動、ご努力に敬意を表しますとともに益々のご発展をお祈り申し上げ、着任のご挨拶とさせていただきます。

初の日系クリニック開設（セブ島・マクタン島）

セブ・ジャパニーズ・クリニック（英名 Cebu Japanese Medical Clinic）

【概要】

(A) 開設の経緯
首都マニラには日本人向けクリニック（マニラ日本人会診療所）が30年前より存在し、複数の日本人医師が常駐して邦人医療を担っておられます。しかしセブ島地域には長らく日本人医師が不在で、既存の医療機関等で患者様のすべてのニーズがまかなうことができていたとはいい難い状況でした。

このたび、Maayo Medicalの「日本人向け医療にも積極的に取り組みたい」という熱意を元セブ日本人会会長の三村幸弘様を通して伝え聞き、継続的な支援を頂くことで、セブ島では初の日系クリニックを開設できる運びとなりました。

(B) 立地と設備について

Maayo Medicalはセブ島では最高峰の医療施設と最新設備を誇り、日本の最先端の医療水準と伍することが出来る唯一無二の医療機関です。レントゲンはもちろん、CT/MRI/超音波検査/内視鏡検査/人工透析などを施設内に兼ね備え、入院施設はございませんが外来通院で可能なほぼすべての医療がご提供できます。当院の点滴室にはベッドを2台備え、治療上必要と判断した場合は、外来で点滴加療も行えます。ホテルやレストラン・カフェ・コンビニも併設しており、遠方からお越しの場合でも快適にお過ごしいただけます。タクシーでもMaayo Medicalと伝えればすぐにわかります。セブ・ジャパニーズ・クリニックはそのGround Floor、受付の横に位置しています。

(C) 日系クリニックの果たす意義

日本人医師が常駐することで、臨床診断・治療のクオリティを担保することができ、旅行者・留学生・駐在員などの方にとっては、日本におられる時とほとんど変わらない医療を提供できるものと確信しております。海外生活では、健康管理の不安は避けられません。セブ・ジャパニーズ・クリニックは、フィリピン国、とくにセブ島・マクタン島地域の日本人の方のため、

万が一にも健康を損ねた場合のセーフティネットとして機能することを目的として開設いたしました。普段は意識することがない自分の健康ですが、困ったときには遠慮なくご相談いただければと思います。その時のために、セブ・ジャパニーズ・クリニックがあることを頭の片隅に覚えていただければ幸いです。日本人の健康管理に資することで、留学生の安心や進出企業の増加に寄与できれば、日比の経済交流の促進にも結果的につながるものと考えております。これ

は日比の親睦友好とは決して切り離せません。皆様の安全・安心なフィリピン生活の一助を担うことができれば本望です。

(D) 最後に

末尾になりましたが、初の日系クリニックを開設できるご縁をいただいた、セブ日本人会の田中研吾様、そして現在は日本に帰国されましたが当時Maayo Medicalに在職されていた三村幸弘様には感謝の念に堪えません。この場を借りて深く感謝申し上げます。院長の平田医師とともに、皆様の信頼に応えられる医療機関を運営してまいります。

文責：セブ・ジャパニーズ・クリニック
理事長・医師 山本

【院長から】

Maayo Medicalの御支援の元、Mandauにクリニックを開設する運びとなりました。この場を借りて皆様にご挨拶と、院長就任にあたり自己紹介をさせていただきます。

(1) はじめに

アジア圏の医療レベルは向上しており、セブにおいても殆どの方は安心して海外生活を楽しまし、ビジネス等でご活躍かと思えます。海外生活において最も大事な事は身体の自己管理です。事故や健康管理に関する啓発活動のお手伝いもしていきたいと考えております。

風邪や下痢など、よく遭遇する病気は不可避であることも多く、即効性のある確実な治療薬がないのが現代医学の現状です。基本的には免疫力で自然軽快しますから無用な恐れする必要はありません。普段よりも重症度が高い場合や、いざ困った際に受診先の一つとして当院を考慮して頂ければ幸いです。

(2) 対象患者様と疾患について

海外旅行保険の保険加入は、任意とはいえ渡航や海外生活では必須のものと考えております。搬送例や入院治療の場合は高額になるケースもあり、保険の意義と価値を改めて理解して、加入の検討をして頂ければと思います。また、受診に際しては可能な限り事前に予約を頂ければ助かります。

海外で大病をした際に不幸にも命を落としたり、後遺症が残る事は非常に残念なことです。現代医療には限界はありますが、日本で受けられる医療水準と同等もしくはそれ以上のものを目指して診療にあたっております。

まいります。

(3) 医師としての臨床歴（自己紹介）

私はこれまで救命救急、脳外科、集中治療（ICU）、麻酔管理などを行ってきました。外来診療では、救急疾患を主として慢性疾患のコントロールなども行い、終末期の看取りまで対応してきました。

救急外来の多くは小児でもあり、小児科専門医ではありませんが、初期対応の小児科診療の経験は豊富です。ただし、小児科では原則として『6ヶ月以上』に限って対象とさせていただきます。また産科の対応は困難です。非緊急に事前の予約でよければ産婦人科専門医による遠隔診療も今後検討しております。

僻地離島医療には10年以上従事してきており、医療資源の限られた環境で様々な経験もいたしました。セブ島地域の医療に必ずや貢献できるものと自負しております。

(4) 本来のセーフティネットを目指す

生命を脅かす、心疾患・脳疾患・重症外傷なども積極的に対応いたしますが、当施設は入院設備がありませんので、フィリピン人医師・現地の高次機能病院との連携を整備することで期待に応えたいと思います。具体的には、Chong Hua HospitalのMandau分院等との医療連携を計画中です。

意外かもしれませんが、ほとんどのケースでは早期発見や早期治療を要しません。心筋梗塞、クモ膜下出血、ショック状態（外傷後など）は緊急で迅速な対応が求められますが、単なる風邪や胃腸炎などは基本的な早期回復をもたらす決定的な治療法はありません。癌の場合でも早期発見が正当化できる場合と、しがたの場合があるのが現実です。あらゆる疾患に対して早期対応が正しいわけではありません。このあたりも含めて、医療資源の適正な活用と、疾患・健康管理への啓発活動も進めたいと考えています。

日本に存在しない感染症を含むフィリピン特有の熱帯医学についても、経験を積みながら、より良い医療を目指し、健康面の安心と安全を提供出来る様に努めてまいります。

院長 平田（内科・救急科）





21ST
EIGASAI
日本映画祭
AYALA CENTER, CEBU CITY
2018

ADMISSION IS  ON A FIRST-COME, FIRST SERVED BASIS

	12:30 PM	3:00 PM	5:30 PM	8:00 PM
AUG 23 (THU)	Tori Girl	ReLIFE	Let's Go, JETS! From Small Town Girls to U.S.Champions?!	CHIHAYAFURU Part 1
AUG 24 (FRI)	Daytime Shooting Star	Honnouji Hotel	CHIHAYAFURU Part 2	Tora-san of Goto
AUG 25 (SAT)	Survival Family	Rudolf the Black Cat	Let's Go, JETS! From Small Town Girls to U.S.Champions?!	CHIHAYAFURU Part 3
AUG 26 (SUN)	ReLIFE	Tori Girl	CHIHAYAFURU Part 3	Memoirs of a Murderer

For updates, visit  eigasaiPH
Schedule is subject to change



DECEMBER

2 SUN.

12月2日



JLPT 2018 日

にほんごのうりよくしけん
日本語能力試験

JLPT Japanese-Language Proficiency Test

しけんびねんがつふつかにちようび
試験日: 2018年12月2日(日曜日)
DATE: DECEMBER 2, 2018 (SUNDAY)
HTTP://WWW.JLPT.JP



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

第5回セブ盆踊り大会を終えて

日本人とフィリピン人の結束を強めたイベント

北村 真紀

私はセブの総合情報媒体「セブポット」のスタッフとして働いており、セブ島に住み始めてもうすぐ2年経とうとしています。セブに初めて来たのは7年前の2011年。大学のセブの語学研修に参加したことをきっかけに貧困地域の調査などをする学生団体を立ち上げ、毎年大学

の夏季休暇中にセブを訪れていました。

学生時代に訪れていた時には滞在時期が合わず、参加できなかったセブ盆踊り大会。昨年は来場者として初めて参加することができ、大勢のフィリピン人

が日本の文化に触れ、めいっぴい楽しむ様子を見てとても感動しました。

そんなイベントに今回、私はスタッフとして参加。昨年は来場者の1人として盆踊り大会に訪れていた私が、今回初めて運営側でお手伝いさせていただいたことにより知ったのは裏方の大変さです。

イベント会社との調整に、出店者テナントへの連絡、当日のショーの出演者の手配など……。この他にも数え切れないほどのタスクがあるわけですが、これらを盆踊り委員会のスタッフの方は仕事の合間を縫ってこなしていました。

みなさん、盆踊りの日程が迫れば迫るほど、身を削り、走り回られていました。

1万5000人規模のこれだけの大きなイベントを自身の業務の傍ら準備をしていく姿を見て、このイベントを毎年実現させることがいかに大変かということを目の当たりにしたのです。

このイベントの大成功は、そんなハードなスケジュールの中でもお互いが協力し合い、最後まで走り抜けた結果の賜物なのだと身近で見えて感じました。

また、盆踊り大会は本来、日比の交流を目的としたイベントですが、それは来場者同士だけでなく、運営側であるスタッフにも繋がっているのだと感じました。スタッフはもちろん、テナント出店者から関係各社、地元企業、フィ



リピン人のボランティアの学生たち、ステージの出演者まで国籍や言語の違いを超えて一つのイベントを作り上げています。大規模なイベントを運営するだけでも大変ですが、そこに異文化が混じり合えばなお、難しいです。コミュニケーションの齟齬や価値観の違い……。

一筋縄ではないかないことも多い中でお互いの意見をすり合わせながら理解し、準備を進めていく。

裏方のこうしたところは普段見えない部分ではありますが、ここにも苦難を乗り越え、深い絆が生まれていたのでないでしょうか。

歴史上、「盆踊り」は村の結束を強める役割を果たしたと言われていま

ます。このセブ盆踊り大会もこのように地域が一体となって協力し合い、絆を深めていきました。日本を遠く離れたこの地、セブでもその本来の役割を受け継いでいるのです。セブにいながら日本の文化を味わえるこのビッグイベントがこうして続いているのはこうした地元の人々との強い繋がりがあからなのだなとも思います。

そんな2014年から始まったセブ盆踊り大会ですが、来年は一旦中止。2020年のオリンピッククイ

ヤーにさらにヴァージョンアップした盆踊り大会として戻ってくるかもしれない。今後さらにより多くの方々がこのようなイベントを通して日本の文化・伝統に触れ、楽しめるような機会になることを願っています。そして、微力ではありますが、私もまたお手伝いさせていただければと思います。

D' Tratou Cebu Translation & Pension Application



(横浜市立大学文理学部英文科卒 鈴木了)

(Document Translator): Rio Suzuki [MEL in Yokohama City Univ.]

*公文書 / 証明書 (Official Documents / Certificates) *契約書等 (Contracts / Agreements)

*仕様書 / マニュアル (Business Technical Specifications)

・・・遺族年金申込手続・・・

(Procedures for Pension Benefits to a Filipina family)

*Cedula, *BIR Cert, *Barangay Cert, *Child ID, etc.

(日本国での担当: 中原周太郎 行政士)

Please feel free to inquire directly!

・・・法律相談・・・

(Legal Advice & Assistance)

フィリピン国弁護士による諸手続・法律相談

(会社設立 (SEC・DTI) (Mepz 含む) 養子縁組・離婚・その他訴訟)

(担当: 弁護士 ダニロ シノブハン 日本語できます)

◆ Inquiry: Cell: 0917-7171-839. Tel & Fax: (032)263-0614

◆ Email: suzkicebu@yahoo.co.jp



広告掲載募集

平成 30 年 6 月 20 日

セブ日本人会御中

ご支援のお願い

いつも NPO 法人セブンスピリットに多大なるご支援を頂戴し、誠にありがとうございます。2012 年よりセブ市のコロニにほど近いパリアン地区にて、現地、貧困層の子どもたちを対象とした音楽教育支援を行って参りました。皆さまのおかげで活動も 7 年目に入りまして、セブ市や JICA、日本人会の皆さまが主催されるイベントで演奏の機会をいただき、多くの方に活動を知っていただける機会を得ることができております。

このたび、マニラの Cultural Center of the Philippines よりご招待をいただきまして、7 月 20 日～22 日の日程で開催される、フィリピン最大級の音楽イベントである【CCP Band and Orchestra Festival 2018】にて、セブンスピリットのキッズオーケストラ 39 名が、特別公演という形で演奏させていただくことになりました。フィリピン最大のコンサートホールを持つ CCP で演奏すること、またフィリピンの一流の音楽家が集うイベントに参加することは、セブの子どもたちにとって未来を変える大きなチャンスになると思います。

セブより唯一の参加団体として、セブを代表する思いで参加したいと思っておりますが、スタッフを含め 46 名のマニラまでの交通費、宿泊費等、約 70 万円の予算が必要となります。CCP より 45,000 ペソの助成金をいただき、また、つながりのある個人・法人さまからもご支援のお申し出をいただいているのですが、予算にまでは達していないのが現状です。いつも皆さまにご支援をさせていただいているなか恐縮ではございますが、このたびの音楽祭について、ご支援をお願いできませんでしょうか。

ただマニラで演奏をするのではなく、必ず子どもたちの未来につなげたいと思っておりますし、皆さまのお気持ちを背負って、セブの代表として堂々と演奏をして参りますので、どうぞご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

NPO 法人セブンスピリット

理事長 田中宏明

セブ島を100倍楽しむためのオリジナルツアーの選び方

セブ在住の日本人スタッフがセブ島の魅力を最大限に引き出したオリジナルツアー。日本から来客が多いので、一番に指かけたいガイドが在籍するほどよく知られています。など各ツアーの特色、費用なども詳しくご説明いたします。基本料金でのホテル手配やオプションツアーなど、様々なプランのご提案をいたします。アイランドビュウから豪華観光ホテルツアー、楽しいツアーまでご提案いたします。

PTN Travel はココが安心!

- フィリピン政府観光省認定の上乗旅行代理店
- 日本人スタッフ常駐だから親切と安心
- 日本人スタッフの日本語力が高いので、途中のトラブルでもスムーズに対応します。
- 現地で経験豊富なガイドがご案内

まずは気軽に日本人スタッフ 随時ダイヤル 0917-822-0378 までお問い合わせ下さい。

オリジナルツアー

- セブ島観光 0917-822-0378
- アイランドビュウツアー 0917-822-0378
- セブ島観光ツアー 0917-822-0378

PTN Travel PTN TRAVEL CORP.
0917-822-0378
170, Sisonon, Jyabusong, Lapu-Lapu

エメラルドグリーンダイビングセンター
Emerald Green Diving Center

☆☆ ジンベエツアー開催 ☆☆

日本人インストラクターが5人常駐!! ダイビングが初めての方やお一人で参加される方にも安心。少人数、安全そしてきめ細かなサービスで快適なダイビングを約束♪ またセブ島の南サンタングー、モアルボアル、ボホールにも支店(もちろん日本人インストラクター常駐)がありますので、マクタン以外の海を潜りたいダイバーの方は、ぜひこちらも潜ってみてはいかがでしょうか?

電話: (032) 495-7728 or 495-8372
携帯: 0917-321-6349 (日本語可)
場所: Anemone Resort 内
Buyong, Maribago, Lapu-lapu City

特典 セブ島通信を見て事前にダイビングをご予約された方オリジナルTシャツ贈呈&ランチ無料!
プロモ期限: 当セブ島通信発行年月より1年間

広告掲載募集

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール: info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。

★セブ島通信では、発行日(奇数月の月初)の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。



国際紅白歌合戦

8th International Red-White Singing Festival

Sing With Us

A Cultural Exchange

Japanese performers will sing
Non- Japanese songs while
Non- Japanese performers will sing
Japanese songs to show respect
for each others culture.

Different exciting prizes may be given
including a chance to go to Japan.

WANTED PERFORMERS

5TH AUGUST 2018

**AYALA ACTIVITY CENTER
AYALA CENTER CEBU**



THE MECHANICS

1. This event is open to different nationalities of all ages for singers and dancers.
2. Interested participants may choose to perform solo, duet or as a group.
3. To join, interested performers may ask for a form from the organizer through irwscebu@gmail.com , fill in and submit the needed details.

ORGANIZED BY:

THE WORKING COMMITTEE OF IRWS

AUTHORIZED BY:

MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS
JAPAN TOURISM AGENCY

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

THE ASSOCIATION OF NIKKEI & JAPANESE ABROAD
ASEA - JAPAN CENTER



Life in Cebu, leisure and study. Enjoy your free Coupons/



Official site: IRWS.org

便利な IDカード

セブ日本人会では2年に1度会員の皆様に配布しているIDカードを更新しています。IDカードは協賛店/協賛ホテルからかなりお得な特典を受ける事が出来ます。更に緊急時の連絡先や簡単な身分証明としても使用可能です。会員にとってはかなりのメリットを受けられますので是非皆様IDカードの手続きにご協力ください。

未だIDカードの手続きをされていない会員の方もこの機会に取得されることをお勧めします。IDカードの更新、新規は無料です。紛失などで再発行の場合は実費費用負担をお願いしています。負担額は200ペソです。

IDカードは2月1日より有料で会員様の配偶者、18歳以上の御子息及び配偶者までに限り協賛店及び協賛ホテルの割引きなど特典目的限定で発行いたします。

セブの美味しい地鶏を食べに来ませんか?
Q-Bay Japanese Restaurant

Q-Bayは、オープンエアが気持ちいい気軽に立ち寄れる居酒屋です。一日の疲れを癒しに来ませんか。
焼き鳥は100年続く秘伝のタレと、塩からお選び下さい。長時間コトコト煮込んだこだわりのラーメンもどうぞ。
ランチメニューは ラーメン、弁当など 全品200ペソ以下でご利用いただけます。

☎ 032-401-0402 ✉ qbayresto@gmail.com 📍 Q-Bay restaurant

Skype 4 Ground Floor IT Park, Lapu-Lapu, Cebu City
月一食: 12:00-14:00 日一食: 17:00-25:00 / 全一食: 17:00-27:00

神楽 KAGURA

当店は、お風呂もマッサージを併設する居酒屋です。セブ在住の日本人はもちろん、ツーリストや地元セブの方々にもご好評を頂いておられます。無線LAN設置ですので、店内のどこでもインターネットに接続できるなど、嬉しいサービスもご用意しています。

メニュー
●ねぎま ●ぎょうざ ●刺身盛り合わせ
●ラーメンほか250種類以上のメニュー!

営業: 朝10時から深夜2時まで

お仕事やゴルフ、ダイビング後のリラックスなどに最適です。一日の疲れた身体を当店自慢のお風呂でゆっくりとほぐし、マッサージサービスもあわせてご利用くださいませ。

Tel. No.: (032) 346-0088
A.S. Fortuna Street, Mandaue, CEBU

セブ日本人会 協賛店/協賛ホテル一覧

食材店

町屋マート

ホテル・ビーチリゾート

- Movenpick Hotel Mactan Island Cebu
- Shangri-La's Mactan Resort and Spa Cebu
- Marco Polo Plaza Cebu Hotel
- Waterfront Cebu City Hotel
- Waterfront Airport Hotel
- Waterfront Insular Hotel Davao
- Jpark Island Resort & Waterpark Cebu
- Maribago Bluewater
- Blue water SUMILON ISLAND
- Blue water PANGLAO BEACH
- Lubi Resort Santander
- Anemone Resort and Tours Cebu
- Kandaya Resort Hotel

ダイビング・マリンスポーツ

アクアマリンオーシャンツアーズ (マリンアクティビティ)

ブダンディン・マリン・ダイバー

アクアバディス

- エメラルドグリーン・ダイビングセンター
- マクタン店
- サンタンダー店
- モアルポアル店
- ボホール店

飲食店

【マ نداウエ市】

- 神楽 (和食)
- らーめん野武士 (ラーメン)
- オイスターベイ (シーフード)
- スキレット (和洋食)
- HAPPY SUMO (和食)
- Tao Yuan (中華料理)
- 松之屋 (和食)

【マクタン島】

- だるま (和食)
- 空海 (和食)
- 夜桜 (和食)
- マリバゴグリル (フィリピン料理)
- 花魁 (和食)

【セブ市】

- 遊々亭 (和食)
- はる/旧さっちゃん (お好み焼き)
- タランバン店
- 悟空 (和食) マポロ店
- ミッキーズ (ケーキ)
- Q兵衛 (和食)
- TYMAD BISTRO (フランス料理)
- 夢屋喜兵衛 (和食)
- AMPERSAND (西洋料理)
- 寿や (ラーメン)
- ラーメン空/やきとり備長炭
- 秋田/AKITA (和食)
- Mio Cafe and Restaurant (フィリピン料理)

- 韓陽苑 (焼肉レストラン)
- 幸 全店 (日本食レストラン)
- 麻布 (日本食レストラン)
- Circa 1900 (洋食)
- 一路発 (ラーメン)
- 但馬屋 (焼肉)
- Jazz'n Bluz Bar & Restaurant

美容・健康

- ワウ・セブ歯科医院 (歯医者)
- スマイルデンタル (歯医者)
- Japanese Tea Lounge (マッサージ)

レジャー・スポーツ

セブトップ (遊覧飛行、体験飛行)

その他

- Character Studio (オリジナルグッズ)
- 誰でもヒーロー (ボランティア)
- NPO セブンスピリット/Sevnsprit (ボランティア)
- ジャパン支援センター (退職者ビザサポート)
- QQ English (英会話学校)
- D'Tratou Cebu (翻訳業務)
- Sky Water Park (プール&レストラン)
- Wabi Linkage Corporation (翻訳業務)

旅する

- フレンドシップツアーズ
- KSB トラベル
- AS レンタカー

割引き、もしくは特別サービス御座います。必ず会員証をご持参ください

広告募集中です。セブ島通信の発行費は広告料金でまかなっています。ぜひご協力ください。

【広告料金】

① 3分の1	2段	800ペソ
② 2分の1	2段	1,200ペソ
③ 3分の2	2段	1,600ペソ
④ 全幅	2段	2,400ペソ

- 【お願い】**
- ①最低6ヶ月は継続してください。
 - ②この3号分は同一原稿です。
 - ③お支払は前払原則です。
 - ④完成した原稿をお持ちください。

【お申込みは】
セブ日本人会事務局
電話: 032-343-8066
FAX: 032-343-7663



飾り寿司

6月2日の2時間目と3時間目にみんなで飾り寿司を作りました。
 始まりは、日本人会宛てに着た一通のメールでした。日本で飾り寿司の講師をされている優美さんという方から、セブに遊びに行くので、飾り寿司の講習をしたいのだが、協力してくれないか、というものでした。ぜひ補習校でやって頂こうということになったのですが、これが意外と準備などがたいへんでした。まず材料です。当然、外国では手の入りにくいものもあり、日本に一時帰国している人に頼んだりして揃えました。巻き簾が人数分必要とのことでしたが、これは講師の優美さんから寄付していただけることになりました。
 当初は生徒全員が一本ずつ作ろうと考えましたが、そうなるとご飯を40合も炊かなくてはなりません。それはさすがに不可能だろうと、20人分をみんなで作ろうということに計画を変更し、ご飯はビルの食堂で炊いていただくよう協力していただきました。
 低学年の生徒は高学年の生徒と組むなどして、ひとつひとつの工程に取り組みました。難しいところもありましたが、何とかみんなで仕上げることができました。作業途中ではどうなることかと思いましたが、(予想外に)みんな「自動車」の飾り寿司ができていました。
 もちろん巻き寿司を作るのは初めてという生徒がほとんどで、優美先生の説明はみんな真剣に聞いていましたし、楽しんで取り組んでいました。
 できた寿司は、その場で食べている生徒もいましたが、家に持ち帰る生徒がほとんどで、自分の作った寿司を家族に見せたいという気持ちが強かったようです。
 飾り寿司作りが、セブでできたことは本当に幸運なことだったと思います。



合同体育授業

6月9日(土)は、一年に一度の合同体育授業を行いました。
 まずはラジオ体操で体をほぐし、竹の棒を二人で持って走る「台風の目」。折り返し地点で回るときに、外側の人が大回りをしなくてはならず、二人で息を合せないとうまく回れません。竹の棒はバトン代わりにもなっていて、次の走者に渡すときには、一度下に置くルールですが、気持ちがあせって、思わず投げてしまう場面もありました。
 二種目は「大脱出」。二つのチームに分かれ、まず一人がロープを取りに走ります。戻って来て、ロープの中に人を入れて、向こう側の陣地にチーム全員を早く移動させた方が勝ちというゲームです。これは、代表のロープを持ってくる人のリーダーシップが勝敗のカギを握ります。そして、予め、どのくらいの人数を一回で移動させるのか作戦を立てることも重要です。そしてロープの中の人たちは、みんなで速度を合せて走ることも大切です。
 最後は恒例のドッチボール。低学年チームはルールがよくわからず、コート外を走り回ったり、ボールに当たっても外野に行かなかったりと、審判は大変です。日本ではドッチボールはとてもポピュラーな遊びですが、フィリピンで生まれ育った生徒はほとんど知らないようです。
 みんな各種目の間の休憩時間も、体育館を走り回り、汗びっしょりになっていました。



避難訓練

6月9日(土)に避難訓練を行いました。
 今回は火災を前提とした訓練で、この日の出席者29名が3分3秒で1階の駐車場まで避難をしました。
 不審者に対する訓練も四月に行われましたが、こういうことは普段から訓練を重ね、万が一の際に自然に体が動くくらいにしておきたいと思います。

◎避難の心得「おかしも」

- お おさない
- か かけない(走らない)
- し しゃべらない
- も もどらない

私のマーゴロな ご近所

水野

先日、知り合いの娘の結婚式に呼ばれた。確かに知り合いであるが、日本人の友人を通しての知り合いで、親しくもないし、ましてやその娘になんて会ったこともない。私が考えるに、その日本人に結婚式に来てほしいのであって、私はいわばオマケである。だから行く気なんてなかったのだが、友人とのやり取りの中で、どうしても断れなくなった。

日本人の友人は、フィリピンの結婚式は初めてで、どんな格好をしていけばいいのか、お祝いはどうするのか、など、いろいろ聞いてくる。しかし、私も行ったことがない。それなりの生活レベルの結婚式は、だいぶ前の話だが、親戚の結婚式で「ニナン」という後見人になってくれ、と言われ、貸衣装屋で白いドレスを借り、出たことがある。でもそれはその辺の教会で、何が何だかわからないけど、どこかのオジサンと一緒に入場し、神父の取り仕切る式の最中、神妙な顔をして座ったり、立ったりしていればよかった。式が終われば、嫁の住む部落に連れていかれ、豚の丸焼きなどのごちそうを一通り食べて、帰ってくる。予め席が用意されている結婚式なんて日本で生活していた時以来だ。

さて、まずは着ていくものだ。よくパーティーなどの招待状に、ドレスコードがあったりする。しかし、行ってみると、芸能人のようなドレスを着ている人もいれば、Gパンにポロシャツという人もいて、結局、何が正解なのかわからない。いかにも、という派手なドレスでもなく、決してみすばらしくない、その辺を歩いていても浮かない格好、というの難し、これが私がパーティーの類の出席を

避ける大きな理由となっている。しかし、今回は私はオマケである。何年前かに、子供の卒業式に着ていくために買ったブラウスにした。

会場のロビーに着くと、テカテカした布で身を包んだ女性たちがたくさんいる。おそらく、次に街中で会ってもわからないだろうというくらい化粧も施されている。しかし、そんなきらびやかな中でも、やはり普段着のような恰好をしている人もいる。開始時間をとくに過ぎていてもまだ始まる心配さえない。入口で、本場に招待客なのかを確認する厳しいチェックを受け、会場に入る。日本一般的な結婚式場で行う感じで円卓がたくさん配置されていた。席に座ると、テーブルにはピーナッツが置いてあって、皆、待たされて腹が減っているのか、グルグルとピーナッツが回っている。しばらくしてやっと始まった。まるで日本のような披露宴であったが、少なくとも私と友人が座ったテーブルの招待客は、私を含め、一心不乱に出てくる料理を平らげていた。満腹になつたら帰る、とどこまでも本能に従っている人々を見習い、私たちも頃合いを見計らいお暇させていただいた。

自分の結婚式を思い出してみる。私がカトリックではないために、特別な許可を得ないとならない、と夫に連れられて行った先で、日本の私の住んでいる近くの教会に電話をするから、という理由で五百ペソを徴収され、ようやく教会で結婚式を挙げられる許可をもらえたのだが、夫は、月に一度行われる合同結婚式に申し込むという。確か、それが三百ペソだった。仮にも日本人で、日本からも私の両親も来るのだから、私たちだけでできないのか、と聞いたら、千ペソもすると危うく却下されかけたが、私が払うからと強引に貸し切り結婚式を挙げた。そのあと、夫の住む部落で、どんちゃん騒ぎをしたようだが、私は日本から来てくれた家族や

友人たちをもてなすため、披露宴(？)には出席しなかった。日本の親戚がくれた祝い金でお釣りが来たような結婚式であったが、今は昔。最近では、そんなに安上がりではないという話だ。つつい自分の時を基準にしてしまい、結婚式はそんなに金がかからないと認識していたが、今や教会を貸し切った結婚式をやるものなら何万ペソもかかるらしい。

このあたりの部落では珍しく、毎週、日曜日の朝に教会に行く敬虔なカトリックの親戚の一家がいる。年頃の娘がいるが、気が付けば家に転がんでいる若い男性がいて、普通に家族のように暮らしていた。私が夫と結婚するという時、家を建てる前にとりあえず借りた家のオーナーに、神様が怒るからと、結婚前に同居することを固く禁じられたが、これまた正解がわからない。同居して数年が経ち、ようやく結婚式を挙げるといふ。小さなビジネスホテルでやるというので驚いたが、そういえば、ここ何年も、近所で結婚式、または披露宴をした話を聞いていないので、これもまだ時代の流れなのかもしれない。名前入りの招待状ももらったが、生憎、どうしても外せない用事があり出席できなかった。直接謝り、なにがしかのお祝いをあげた。姑も招待状をもらっていた。しかし姑は行かない、と言う。理由はよくわからないが、ただ行かない、と頑なに拒む。ホテルでやるからには、出欠の連絡はちゃんとしておいた方がいい、と、どうやら姑は行かないらしい、と娘に伝えたら、すでに本人から聞いていて、とのことだった。そして、当日。親戚のフェイスブックの写真を見ていたら、なんと姑が披露宴に参加していた。

同じフィリピンではあるが、おそらく収入に依りそれぞれの生活レベルがあり、そのレベル毎の常識はまったくちがうらしく、どこまでいっても正解がわからない理由なのだろう。

女 37 歳 セブ島で楽しく明るい貧乏生活

JUNKO

最近、セブでの生活で「理不尽」さを感じる事が多いです。

ひとつはDAREDEMO HEROのフィリピン人スタッフの話です。彼は数か月前にバイクに乗っていたところ、後ろからタクシーに当てられて怪我をしました。大事には至りませんでした。怪我のために仕事を数日間休むことになりました。日本であれば100%タクシーの過失であり、保険料や損害賠償金に関してそれほどめめることはありません。しかし、ここフィリピンではそんなに簡単ではありません。彼は週末になれば警察や裁判所に出向き、時には急な呼び出しで仕事を休むこともありました。彼の話によれば、加害者であるタクシー運転手が警察には出頭せず、裁判所にも出廷しないため、タクシー会社に連絡をして出頭、出廷するように手続きを取っているとか。結局、いまだに治療費とバイクの修理費用は支払われていません。

さらに彼の不幸は続きます。数週間前、彼は借家の敷地内に停めていたバイクが盗まれてしまいました。またしても盗難届を出すために仕事を数日休むこととなります。しかし、この国で盗難届を出した

ところで何も起こりません。そのため独自の捜査を進めた結果、犯人は借りている家のオーナーの息子であると判明しました。「警察には言わないので、バイクだけ返してくれ」とお願いをしたようですが、明確な返答がないまま、いまだにバイクは返却されていません。その後、そのオーナーから彼に圧力がかかり、急遽、家を引っ越さなければいけないことになりました。しかし子どもは転校したくないという理由で家族は近所に家を探し、彼だけが職場の近くにベツスペースだけの小さな部屋を借りて引っ越すことになりました。

このような話を聞くと、このスタッフに何か問題があるのでは？と思われるかもしれませんが、彼は単に「とてもいい人」なのです。怒ったり相手を責めたりすることができない「いい人」が損をしてしまうのは、とても悲しいことです。

さらにもうひとつ、理不尽なことがありました。現在DAREDEMO HEROで医療支援をしている子どもがいます。その支援の際、この国の公立病院の効率の悪さをしみじみと感じました。検査機器が不足しているとの理由で病院のたらいまわしは当たり

前。連絡ミス、調整ミスによるリスケジュールも特別なことではありません。そのため、すべてが予定通りに進まず、何度も何度も病院に行かなければならないのです。ひとつの検査に1日、2日はかかるため、患者も家族もくたくたです。医者からの説明が不足していたり、貧困層の家族には到底理解できない専門用語や難しい言葉を並べられたりするため理解ができず、どうしていいかわからないまま、ただただ時間だけが過ぎていくのです。

この件に関しても、この家族には何の問題もありません。自信がないために「主張ができない」のです。

私はこの話に出てくるスタッフも、家族もみんな大好きです。みんな家族想いでとてもやさしい人たちです。しかし少し知識が不足しているために自信がなく、主張ができずに損をしてしまうのです。だからといって、ずる賢く、激しく自己主張をして生きていくほうがいいとは思えません。この「理不尽さ」はどこの国でもあるかもしれませんが、貧富の差や知識の差が激しいこの国では、他国よりもさらに顕著に表れているように感じます。また様々なルールが富裕層に有利に作られていると感じます。

いい人たちが、いい人でいられ続けるためにも、この「理不尽さ」が少しでもなくなってほしいと思ってやみません。

広告掲載のお礼

この度フリーペーパー各社(セブトリップ、咲楽、セブポット様)のご厚意により日本人会の情報、お知らせを無料で掲載していただくことになりました。いろいろな情報がたくさんの方に発信できるようになり関係者一同喜んでます。この場を借りて御礼を申し上げます。

セブ日本人会 会長 櫻井 絹恵



★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日(奇数月の月初)の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。